

平成19年3月期（第10期） 本決算説明会

株式会社Jストリーム

概観

- ◆ **売上高** 3,612 (個別3,271)百万円 (前年比+30.8%)
営業利益 300 (個別269) 百万円 (前年比+161.7%)
経常利益 280 (個別310)百万円 (前年比+107.8%)

- ◆ **セグメント**
特にモバイルが好調 ビジネス向けサイト構築+映像利用 iチャンネル など

- ◆ **第4四半期**
連結売上高 997 百万円と好調
連結経常利益 100 百万円
PC向け制作は大型の案件が比較的少ない傾向が続いたが、ライブが好調で利益に貢献

【人員増】期末人員数:159名 (18年3月末 114名)

バランスシート(連結)

		第10期末	主な変動要因
資産の部	流動資産	3,126,500	▶ 現金同等物(現預金+預け金) +259,506
	固定資産	714,965	
	有形固定資産	165,521	
	無形固定資産	265,390	▶ のれん +23,714 ソフトウェア +14,577
	投資その他の資産	284,053	▶ 投資有価証券 △82,252
資産合計		3,841,466	
負債の部	流動負債	602,897	▶ 未払法人税等 +109,937
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379
		資本剰余金	1,430,642
		利益剰余金	△443,912
	少数株主持分	69,459	
	純資産合計	3,238,568	
負債・純資産合計		3,841,466	

		第9期末
資産の部	流動資産	2,814,525
	固定資産	742,949
	有形固定資産	158,588
	無形固定資産	238,686
	投資その他の資産	345,674
資産合計		3,557,474
負債の部	流動負債	479,090
少数株主持分	少数株主持分	67,426
資本の部	資本金	2,169,223
	資本剰余金	1,417,485
	利益剰余金	△575,751
負債・少数株主持分及び資本合計		3,557,474

決算ハイライト P/L

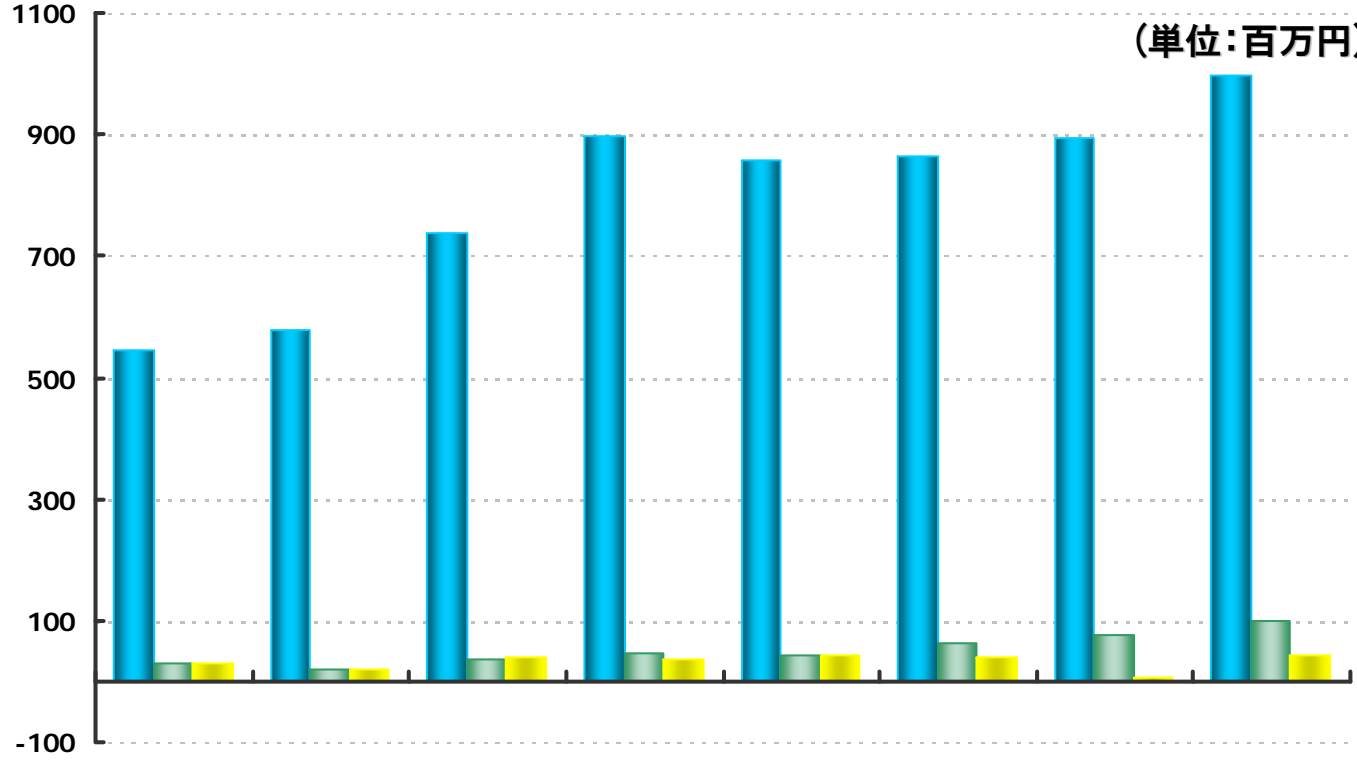
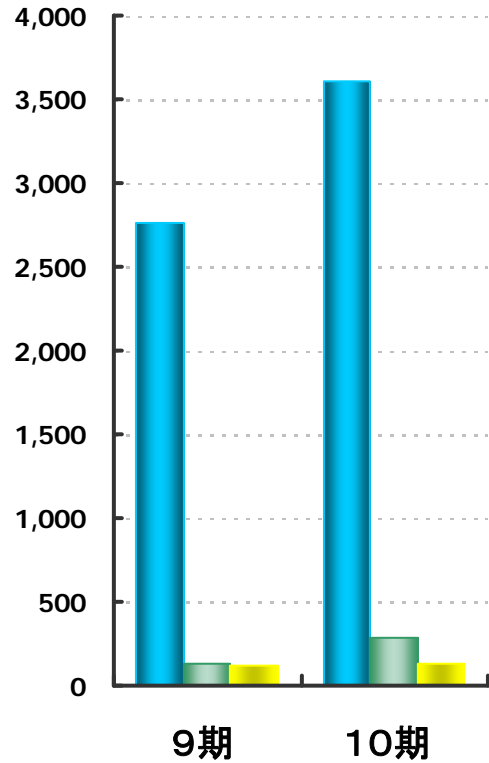
	第10期 (連結) A	第10期 (個別)	第9期 (連結) B	増減比 (A:B)	
売上高	3,612,033 (100%)	3,271,183 (100%)	2,761,594 (100%)	(+30.8%)	
売上原価	2,097,491 (58.1%)	1,920,733 (58.7%)	1,671,523 (60.5%)	(+25.5%)	
売上総利益	1,514,542 (41.9%)	1,350,449 (41.3%)	1,090,070 (39.5%)	(+38.9%)	
販売費及び 一般管理費	1,213,917 (33.6%)	1,080,816 (33.1%)	975,181 (35.3%)	(+24.5%)	
営業利益	300,625 (8.3%)	269,632 (8.2%)	114,888 (4.2%)	(+161.7%)	
経常利益	280,920 (7.8%)	310,460 (9.4%)	135,213 (4.9%)	(+107.8%)	投資有価証券 評価損 45,101
税金等調整前 当期純利益	236,106 (6.5%)	266,599 (8.1%)	131,182 (4.8%)	(+80.0%)	法人税、住民税 および事業税 116,400
当期純利益	131,838 (3.6%)	169,725 (5.2%)	123,456 (4.5%)	(+6.8%)	

▶ 全般に利益率改善

創業以来の繰越損失による税控除は10期で終了

四半期別利益推移（連結）

(単位:百万円)



売上高	2,761	3,612
経常利益	135	280
経常利益率	4.9%	5.8%
純利益	123	131

項目	9-1Q	9-2Q	9-3Q	9-4Q	10-1Q	10-2Q	10-3Q	10-4Q
売上高	546	578.5	739	898	856.4	863.9	894.1	997.4
経常利益	30.8	19.3	37.4	47.5	41.8	62.7	75.6	100.6
経常利益率	5.6%	3.3%	5.1%	5.3%	4.9%	7.3%	8.5%	10.1%
純利益	30.5	18.9	39.1	34.8	42.5	39.2	7.7	42.3

▶ 売上の増加傾向は堅持。第4四半期売上高ほぼ10億円。

※第10期構成比率順 単位:千円

	第10期		第9期		備考
	金額	比率	金額	比率	
外注費	715,927	(34.1%)	641,588	(38.4%)	人的費用の合計 第10期 1,341,223 (63.9%) 第9期 1,099,753 (65.8%)
労務費	427,631	(20.4%)	271,840	(16.3%)	
通信費	318,085	(15.2%)	270,187	(16.2%)	
業務委託手数料	197,665	(9.4%)	186,325	(11.2%)	
ロイヤリティ	197,557	(9.4%)	73,635	(4.4%)	
賃借料	80,030	(3.8%)	78,781	(4.7%)	
保守料	68,715	(3.3%)	64,360	(3.9%)	
ソフトウェア償却	63,471	(3.0%)	51,608	(3.1%)	
減価償却費	59,135	(2.8%)	52,208	(3.1%)	
地代家賃	39,244	(1.9%)	30,402	(1.8%)	
その他及び他勘定振替	△69,969	(△3.3%)	△49,411	(△3.0%)	
売上原価合計	2,097,491		1,671,523		

▶ コンテンツ配信や映像フォーマット利用のためのロイヤリティ支払(Flashが中心)が急増
 (配信データ量 ÷ 売上 に比例する契約となっている)

※第10期構成順

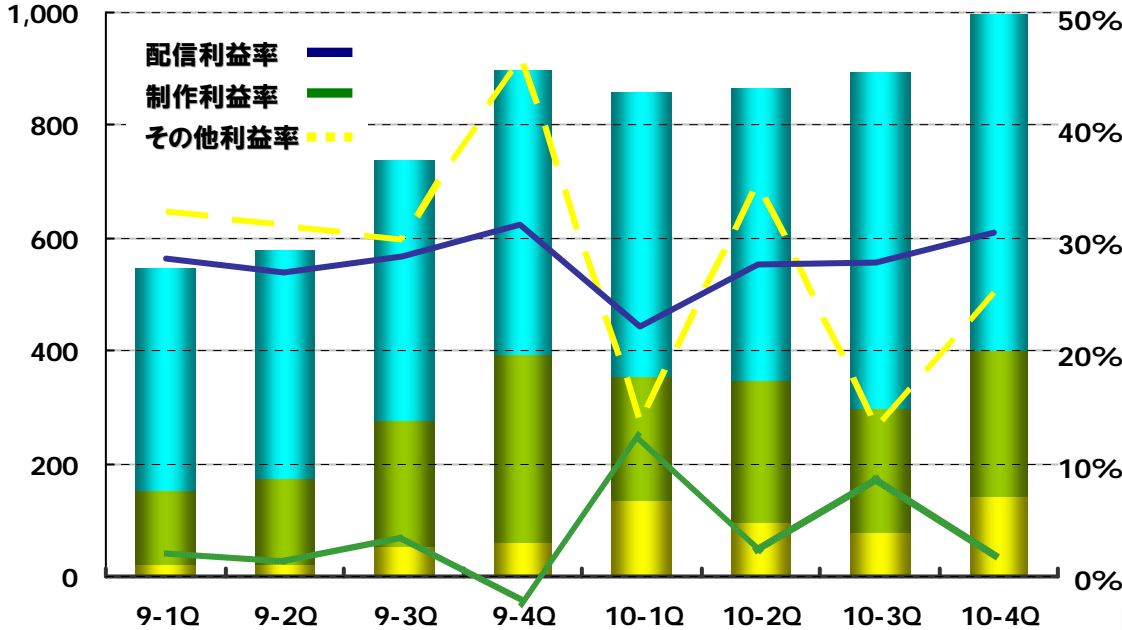
販売費及び一般管理費主要項目（連結）

	第10期		第9期		備考
	金額	割合	金額	割合	
人件費	631,628	(52.0%)	515,169	(52.8%)	
販売促進費・ 広告宣伝費	104,717	(8.6%)	83,483	(8.6%)	
販売支援費	65,044	(5.4%)	36,794	(3.8%)	
地代家賃	53,120	(4.4%)	36,015	(3.7%)	
業務委託手数料	37,763	(3.1%)	19,249	(2.0%)	
求人費	37,579	(3.1%)	33,861	(3.5%)	
研究開発費	34,344	(2.8%)	53,250	(5.5%)	“castella”関連 開発が一段落
株式関係費	31,493	(2.6%)	35,278	(3.6%)	
その他 <small>(雑費、旅費交通費、支払手数料、賃借料等)</small>	218,229	(18.0%)	162,082	(16.6%)	
販売費及び一般管理費 合計	1,213,917		975,181		

▶ 増床により地代家賃が増加した以外、販売費及び一般管理費に大きな変化はない。
第11期さらに増床を実施済み(5月)。

(単位:百万円)

連結セグメント売上／利益状況



- ◆ 4Qはモバイルの比較的大規模な制作案件があり制作売上を押し上げている。
- ◆ 下期においてウェブ制作の大型案件が少なかったこと、内部工程管理の見直しなどにより外注への依存が低下したことなどにより制作利益率が改善。

	9-1Q	9-2Q	9-3Q	9-4Q	10-1Q	10-2Q	10-3Q	10-4Q
その他	32.3%	31.1%	29.8%	46.2%	13.5%	34.8%	13.2%	25.2%
制作	2.0%	1.4%	3.5%	-2.2%	12.5%	2.2%	8.7%	1.7%
配信	28.1%	27.0%	28.3%	31.2%	22.3%	27.8%	27.9%	30.6%

第10期 連結セグメント／費用／利益

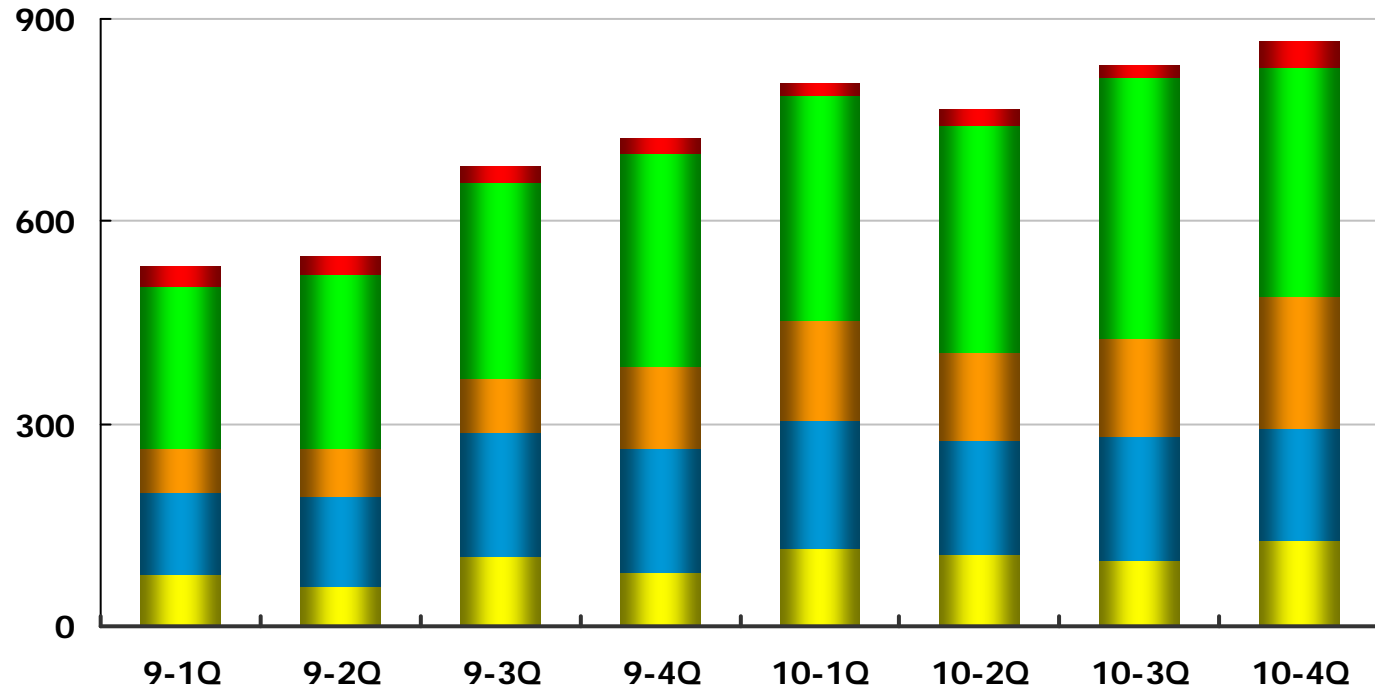
	売上高	営業費用	営業利益
配信	2,214	1,609	604
制作	948	891	56
その他	451	353	97
	3,612		

配信	393	405	461	505	503	518	596	596
制作	131	153	226	331	217	250	219	260
その他	23	20	52	60	135	97	78	140
合計	546	579	739	897	856	865	894	997

※セグメント間の振替や消去分を含む詳細は決算短信p.30をご参照ください。

(単位:百万円)

商品別売上推移(個別)

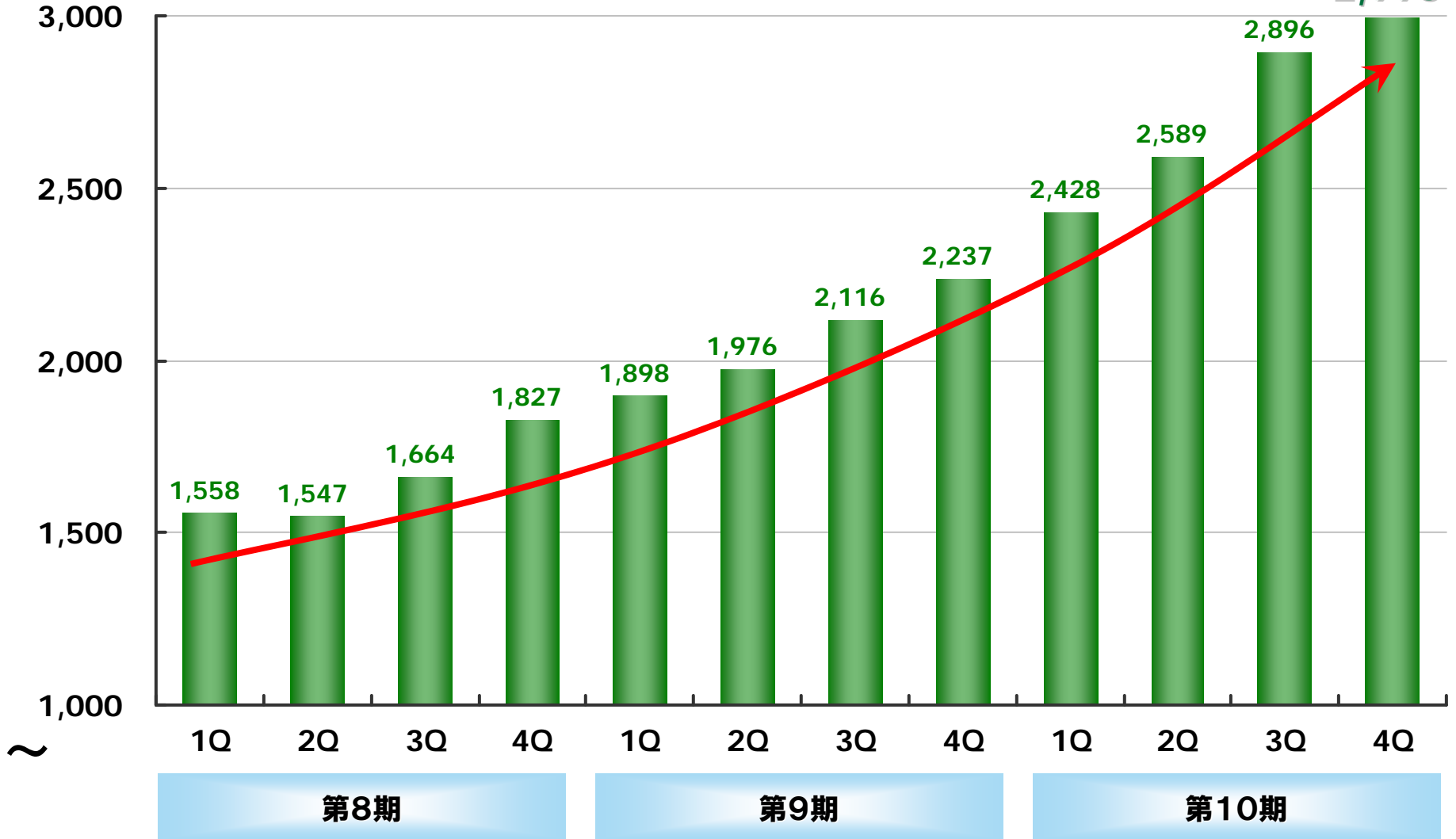


- ◆ 一般企業による携帯電話での情報発信増加に伴いモバイルが好調
- ◆ 特に下半期について制作案件に大型のものが少なかったため全体に占める比率は低下している。
- ◆ オンデマンドは1Q、3Qにスポーツやアニメーションの大型案件があった反動で、4Qにおける比率が他の四半期対比で低くなっている。

	9-1Q	9-2Q	9-3Q	9-4Q	10-1Q	10-2Q	10-3Q	10-4Q
ライブ	31	26	23	21	18	23	18	37
オンデマンド	238	259	291	316	333	337	386	341
モバイル	65	71	79	121	148	130	146	195
制作	123	133	185	183	189	169	184	165
その他	77	58	103	81	114	105	96	126
合計	533	547	680	721	804	766	832	867

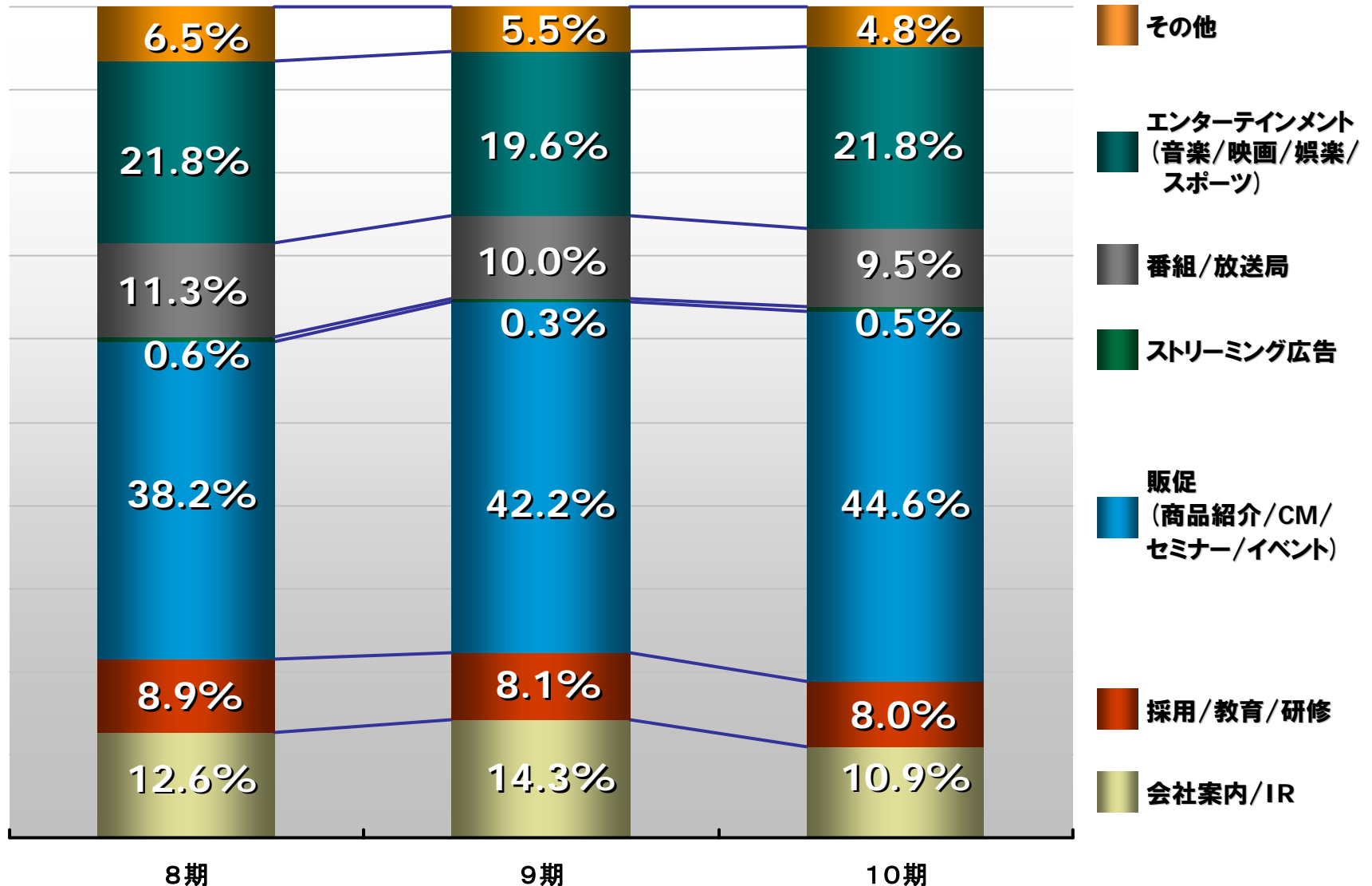
取引案件数動向

(単位：件)



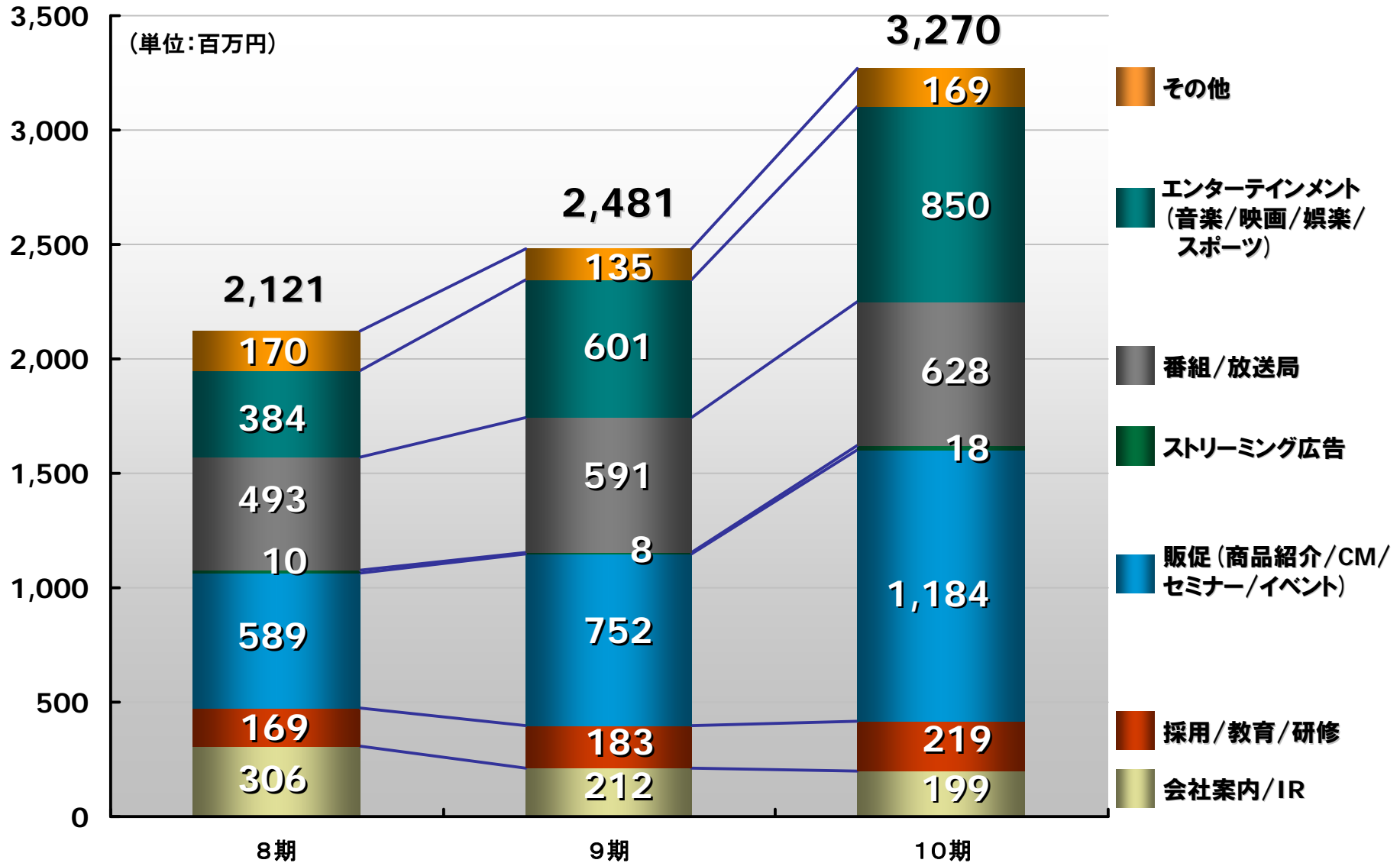
▶ 案件数の伸びは引き続き順調

利用シーンの件数比率推移



▶ **リッチコンテンツを利用したプロモーションの比率が高く、伸び率も高い。**

利用シーン別売上推移



▶ エンタメ、販促案件の伸びが顕著な傾向が続く。

(単位:百万円)

投資戦略	投資項目	実績	10期実績
サービス強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配信容量の増加をコストを抑えつつ実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストレージ・サーバー等ネットワーク維持拡充 81 	
サービス 開発系投資	<ul style="list-style-type: none"> ■ Flash関連サービスの充実 小規模自動ホスティング (Jフラット商品化) / FMSライブ配信 他 ■ 収録の高品質化(HD) ■ ポッドキャスト関連サービス強化 ■ モバイル:Vライブ関連、MNP関連 ■ 新キャリア対応投資 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 制作系 3 ■ 携帯用サーバー、ソフトウェア 39 ■ castellaシステム、Jフラットなど新サービス 40 	<p style="text-align: center;">200 (356)</p>
社内システム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社内情報共有管理基盤の再構築 / セキュリティ対応 ■ 経理・会計システム効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス増床に伴うもの 36 ■ その他 	

第11期 事業計画

11期 事業方針

【経営方針】

『市場拡大のスピードに負けない拡大施策』
 『事業領域の拡大にむけ、検討と施策実施』

【周辺環境認識】

ビジネス市場

◆ ネットマーケティングの重要性がマス媒体とのクロスメディアで向上

メディア関連市場

◆ コンテンツビジネス市場：大手CP事業者の取組みが具体化する

内部課題



◆ 新会社法、J-SOX対応などコンプライアンス体制

◆ 3G携帯の広がりと検索機能により大きく変化

モバイル市場

◆ 配信支援ビジネスから拡大する方向で新規事業領域を追求

CGM・新規事業

市場別注力ポイント

ビジネス市場

- ◆ 企業Webサイトのリッチメディア化提案
- ◆ 代理店施策の見直しと、支援体制づくり
- ◆ 広告代理店との関係強化
- ◆ PC、モバイルのクロスメディア提案
- ◆ オンライン販売「Jフラット」の拡販体制

メディア関連市場

- ◆ 大手CPとの協業モデル
- ◆ メディア系企業(TV、ラジオ、新聞)&関連事業者との協業
- ◆ 動画広告のスキームと販売支援

- ◆ 一般企業向けソリューションの開発
- ◆ 引き続き i チャンネルの拡販
- ◆ 大容量(長尺)コンテンツの配信
- ◆ モバイル広告商品へのリッチコンテンツ利用の推進
- ◆ LSJ会員数増加施策

モバイル市場

- ◆ 「castella」のビジネスモデル確立
- ◆ HIPCAST(ポッドキャスト作成・配信ツール)の事業者向け提供
- ◆ Viralマーケティングサービス開始
- ◆ ゲーム内広告(ex.セカンドライフ)取り組み、検討

CGM・新規事業

事業領域の拡大

- ◆ 新ネットワーク(グリッド、無線、NGN等)への対応
- ◆ 各種 配信先デバイスの対応
- ◆ コンテンツビジネスに対応するプラットフォーム作り
- ◆ 携帯電話市場へのサービス拡充
- ◆ クリエイティブ競争力の向上と制作体制
- ◆ 新商品開発と新領域へのチャレンジ
- ◆ オンラインダイレクトによる営業構造改革
- ◆ 海外展開



働きがいと能力開発

- ◆ 新技術への取り組み・チャレンジ
- ◆ 業界最先端の知識・スキル習得研修制度
- ◆ 充実した職場環境づくり

公共性と社会的貢献

- ◆ 内部統制システムの構築／運用
- ◆ 東証一部への指定換え
- ◆ バリアフリー社会実現への貢献
- ◆ 地球環境に配慮した事業運営

投資方針

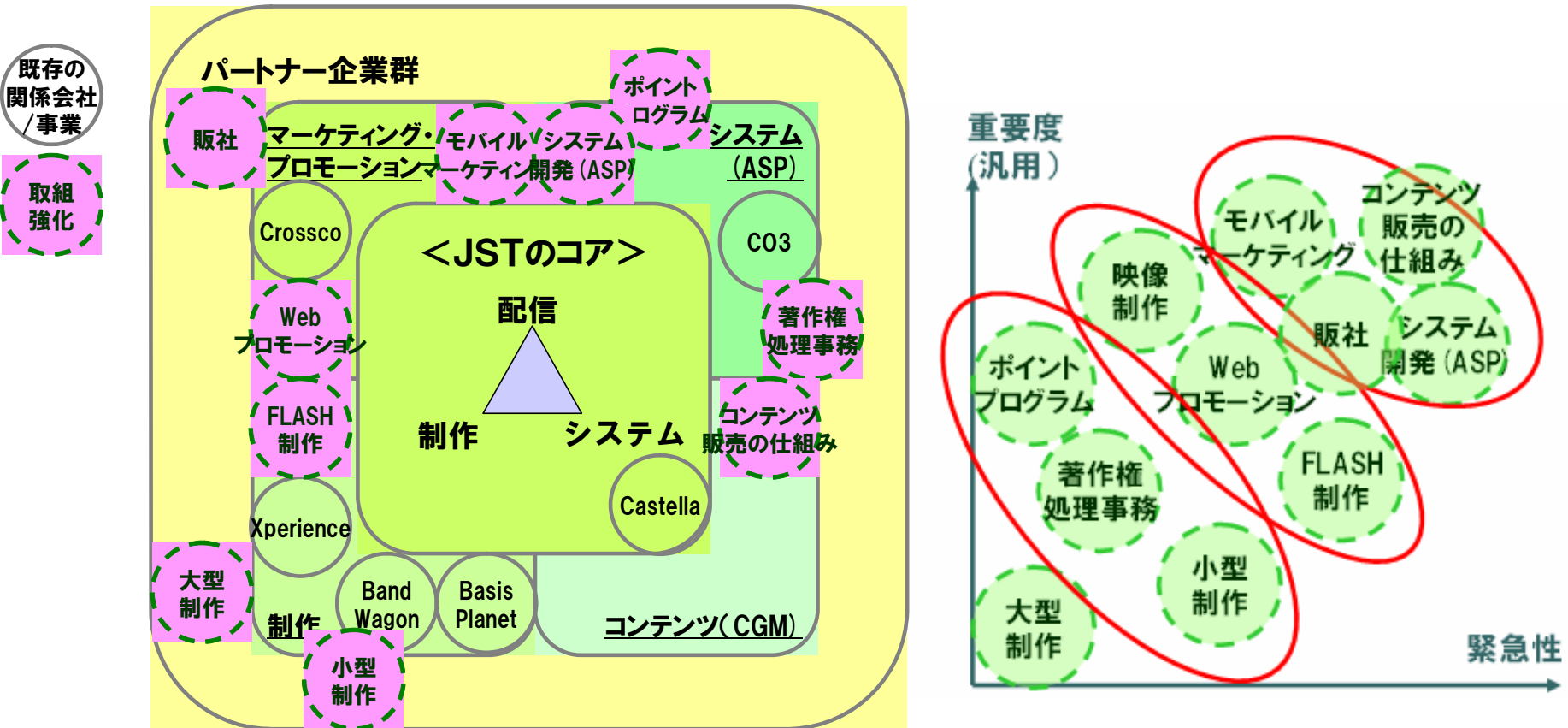
投資戦略	投資項目	11期計画
<p>サービス強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配信容量の増加をコストを抑えつつ実施 ■ ネットワーク機器 / キャッシュサーバ / サーバ 増設 ■ ライブエンコード、制作強化 ■ Webinarサービス強化 ■ 著作権保護対応機能強化 ■ モバイル配信サービス強化(Jmods、Flash対応など) 	<h1>419</h1>
<p>サービス 開発系投資</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ Flash関連:Jフラット改良・強化 ■ グリッド配信(P2P)システム関連 ■ PC以外の機器へのコンテンツ配信サービス対応 	
<p>社内システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販売管理・原価管理システム強化 ■ メールサーバー増強 ■ J-SOX対応体制 など 	

グループ拡大施策(事業投資方針)

◆M&A戦略による事業拡大スピード向上

- 現事業領域における同業種事業者への直接アプローチ(人的パワー確保)
- TCI投資戦略本部との連携によるIT事業者アプローチ
- 外部機関の積極活用による、幅広い投資対象事業者情報収集

<達成するJSTグループ像と投資先優先順位>



第11期業績予想

(単位:百万円)

	連結	個別
売上高	4,450 10期実績比+23.2%	4,100 10期実績比+25.3%
営業利益	360 10期実績比+19.8%	320 10期実績比+18.7%
経常利益	340 10期実績比+21.0%	360 10期実績比+16.0%
当期 純利益	160 10期実績比+21.4%	190 10期実績比+11.9%

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

事例ご紹介

事例のご紹介

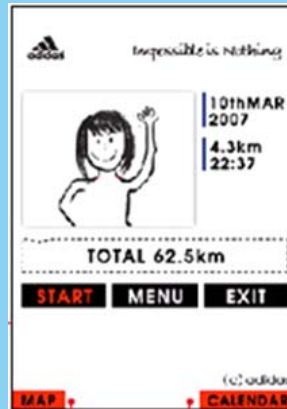
◆アディダスジャパン

『adidas GPS RUN』

<http://www.adidas.co.jp/GPSRUN/>

ワールドワイドの“IMPOSSIBLE IS NOTHING”ブランドキャンペーンの一環として、携帯電話に搭載されているGPS機能とアプリケーション機能を活用し、個人がランニングの目標距離を自ら掲げ、目標達成するまでの道のりをサポートするプログラム。(4月23日より展開中)

走った軌跡や距離、目標の達成度などをPC、携帯で確認できる。



◆castella Wii

ポッドキャストポータルサイト “castella(キャストセラ)” が
任天堂株式会社の家庭用ゲーム機「Wii®」の「インターネットチャンネル」に対応

<http://www.castella.jp/wii>

テレビがまるで、ラジオになったかのように機能し、リビングでくつろぎながら、視聴が可能

Wii で楽しめるFlashゲームの配信や
ビデオポッドキャストへの対応、
チャンネル数の増強などを予定

